

## □令和7年度スローガン

笑顔あふれる  
「み」みつけよう夢を  
「た」高めよう志へ／助け合おう友と  
「ち」知恵と  
「や」やる気と  
「ま」真心で

### 【ひとり言】

数年前のお正月に、  
諫早ケーブルテレビの  
開局50周年記念番組として、  
30数年前に  
フジテレビ系列で放送された  
『親戚たち』  
(脚本:故市川森一さん)  
※諫早市のご出身です  
が全話放送されました。

思わず全話録画していたのですが、  
それを先日から、  
1日1話と決めて、  
見返しているところです。

当時、私は大学生で、  
友だち数人と一緒に  
ロケに来ていた役所広司さんや  
手塚里美さんの後を追って  
喫茶店に入り、  
キラキラ輝く芸能人の会話を  
ぼ～っとしながら眺めた記憶が  
鮮明に蘇りました。

久しぶりに、  
ロケ地となった  
実家の近くの病院やお寺  
を初めとした町並みを、  
食い入るように見えていますと、

当時とはすっかり変わった景色、  
全然変わらない景色など、  
懐かしさのあまり  
つついビデオを止めて、  
画面の隅から隅まで見ていたので、  
家族からは、  
「そがん諫早が好きとね？」  
と、笑われてしまいました。

翻って、これから30年後、  
私たちの故郷はどのように  
変わっているのでしょうか？

少なくとも私たちは、  
目の前の子もたちが  
大人になったとき、  
自分の故郷を愛し、  
故郷のために力を尽くしたい  
と思える環境作りを  
しなければ…。

そんな事を考えている  
今日この頃です。

## 4年生 小学校音楽会で素晴らしい歌声を披露！

諫早市では、10月～11月にかけて、  
市内小学校が幾つかのグループに分かれる形で、**小音会**を開催しています。  
御館山小は、10月23日(木)に、  
近隣の3校(本野、上諫早、北諫早)と一緒に、本校体育館において開催いたしました。  
当日は、各校2曲ずつ、それぞれの学校の特色を生かした合唱や合奏が披露されました。  
伝統の本野音頭を、体一杯使って表現した本野小。  
人数の少なさを感じさせないくらい、一人一人が大きな声で表現した上諫早小。  
体全体でリズムを取り、実に楽しそうに歌い上げた北諫早小。  
そして、トリを務めた御館山小4年生は、  
気持ちを一つにした美しいハーモニー、代表児童のソロパートから、  
最後は4年生116名の迫力満点の歌声を披露…。  
指揮者のタクトに合わせ、歌声がピタッと止まった瞬間、  
一瞬の静寂の後、会場からは大きな大きな拍手をいただきました。  
子どもたちも一様に満足げで、  
**「他の学校もすごかったけど、ぼくたちもすごかったと思います。なぜかという、みんな大きく口をあけて、笑顔で、きれいな歌声を出せたからです。」**  
**「協力することの楽しさを学びました。会場が一つになった気がしました。」**  
等、当日までの頑張りを喜ぶ声が、たくさん聞かれました。  
この素晴らしい歌声は、11月の文化祭で、再度ご披露する予定です。  
4～6年生の保護者の皆様は、どうぞご期待下さい。

## 児童代表『2学期の抱負』(最終回)

2学期も折り返しを過ぎてしまいましたが、2学期の抱負最終回をお届けします。  
最後を飾るのは**4年4組中島果乃さん**です。

2学期にがんばりたいこと

4年4組 中島果乃

わたしが2学期にがんばりたいことは、3つあります。

1つめは、「あいさつ」です。なぜかという、1学期に、「自分からあいさつ」や「みたち山最高あいさつ」ができなかったからです。1学期に、先生方や地いさの方々にあいさつをされても、いいあいさつができず、ぼそぼそと言ってしまいました。ですが、1年生や2年生のあいさつを聞いていると、私よりもレベルの高いあいさつをしていて、自分はお手本になるべきだと勇気をもらいました。2学期は、「みたち山最高あいさつ」を実行することを忘れずに、「学年で1番あいさつが上手」と言われるくらいのレベルになりたいです。

2つめは、「トイレのスリッパならべ」です。なぜかという、スリッパがきたない(並んでいない)と思っても、「今日ぐらいいいや」と思ったり、「友だちがしていないから別にいいや」と思ったりと、よくないことがたくさんありました。放送で、「きちんと並べてください」と言われても、時間がたつと並べようという意しきが低くなってしまいました。だから、2学期は、人まかせにせず、自分がしないといけないという気持ちを持ち、次の人のことを考えて、いつでもスリッパを並べたいです。

最後の3つめは、「漢字マスターになること」です。私が漢字マスターになりたい理由は、50問テストで、すごくおいしいところを間ちがえたり、もったいない間ちがいが多かったりしたからです。都道府県テストでは、たった1文字だけなのにわからないで、けっきょくあきらめました。50問テストで、見直しが足りなかったり、「ここ間ちがえてるかも?」と思って自分も信じてもったいない間ちがいをしたりすることが多かった。周りの人たちが、次々と100点をとっていく中、一人だけ置いていかれるのかと、心配していました。だから、2学期は、だれよりも漢字ノートをたくさん使って練習し、漢字マスターになれるようがんばりたいです。

2学期は、この3つをがんばって、みんなも自分も、4年生らしくレベルアップしていきたいです。

2学期がスタートし、約2ヶ月。果乃さんに目標の達成状況を聞いてみると、

挨拶は、すれ違った人や地域の方などに、1学期よりも意識して出来るようになりました。スリッパ並べについては、下校時にはほぼ毎日トイレに行き並んでいないスリッパを整頓するようにしています。漢字マスターへの挑戦は、練習の量が1学期よりも増えました。この前あった50問テストは、自信がなかったけど100点取ることができました。今後の目標については、この3つは、もちろん続けていくけど、それ以外にも、「人の役にたうこと」を考えて取り組んでいきたいです。

とのこと…。目標がただの飾りではなく、達成に向けて努力を継続する果乃さん、素晴らしいですね！